

こども学科 シラバスの変更一覧

学年	ページ	科目名
1年	46,47	基礎演習 I

学修成果	1	2	3	4	5	科目ナンバリング		
	基礎力	実践力	人間関係力	生涯学習力	地域理解力	CS-2-SEM-01		
			●	●				
科目名	基礎演習 I				単位認定者	鈴木純子 五十嵐雅子 菅原弘 堀之内敏恵 鈴木享之 平田修三	小野瀬剛志 芳賀哲 早坂正年 守渉 田中公一	試験（レポート） 40 % 授業内課題 30 % 受講態度 30 %
対象学科 必修・選択 配当年次	こども学科	必修	1年	開講時期	通年	単位数	2 単位	評価の方法
				授業形態	演習	授業時間数	60 時間	
						授業回数	30 回	
授業の概要	初学者が幼児教育を学ぶにあたって必要とされる基礎力の養成を行う。大学生活への導入、大学教育の意義と目的に始まり、資料検索等の情報収集の方法、文章の読み方・書き方（文章表現力）、キャリア形成について、学外実習の心得等の内容を取り扱う。学習目的遂行のために設定した課題について、探究的に学習し、課題の解決を目指す。							
到達目標	1 課題を発見し、それについて論理的に考え、解決を図るための基礎的能力を身につける。 2 資料収集、文章構成力、発表力など自主学修を行う上で必要な能力を獲得する。 3 次年度のゼミ学修（基礎演習Ⅱ）に向けて、基礎的な知識や方法を学ぶ。							
学修者への期待等	自主的な学びを中心にした科目ですので、自ら行動することを心がけてください。							
回	授業計画				準備学修			
1	課題の見つけ方について（授業の目的と内容、授業の進め方）（全体、グループ）							
2	課題の設定（グループ）				施設見学について、とくに観察したい点を事前に考えておく。（概ね1時間）			
3	資料収集（グループ）				図書室の利用の仕方や、パソコンを使った資料検索の方法などを事前に確認しておく。（概ね1時間）			
4	文献研究（グループ）							
5	施設見学の心得、見学先の調整（全体）							
6	施設見学①（保育の流れ、施設の方針を理解する）（グループ）				事前に課題（観察のポイント）を確認しておく。（概ね1時間）			
7	施設見学②（子どもの様子を観察する）（グループ）							
8	施設見学③（保育者と子どもの関わりを観察する）（グループ）							
9	施設見学④（保育環境を観察する）（グループ）							
10	プレゼンテーション準備①（施設見学の成果を整理する）（グループ）				事前に施設見学の成果を整理しておく。（概ね1時間）			
11	プレゼンテーション準備②（事前学修と施設見学で得た知見をまとめる）（グループ）							
12	プレゼンテーション準備③（発表用資料の作成）（グループ）							
13	探求の成果の発表（プレゼンテーション）（全体、前半グループ）				事前に役割分担などを明確にし、発表のシミュレーションを行っておく。（概ね1時間）			
14	探求の成果の発表（プレゼンテーション）（全体、後半グループ）							
15	まとめ（グループごとに前半の課題についてまとめる）							

回	授業計画	準備学修
16	ガイダンス（授業の目的と内容、授業の進め方）（全体）	
17	課題設定（グループ）	興味のある課題や著作について事前に調べておく。（概ね1時間）
18	文献検索（グループ）	
19	講読演習①（指名された1～2名の学生が文献について報告を行い、それに基づいてグループ討議）	各自、指定された文献の該当箇所について熟読し、論点などを整理しておく。（概ね1時間）
20	講読演習②（指名された1～2名の学生が文献について報告を行い、それに基づいてグループ討議）	各自、指定された文献の該当箇所について熟読し、論点などを整理しておく。（概ね1時間）
21	講読演習③（指名された1～2名の学生が文献について報告を行い、それに基づいてグループ討議）	各自、指定された文献の該当箇所について熟読し、論点などを整理しておく。（概ね1時間）
22	講読演習④（指名された1～2名の学生が文献について報告を行い、それに基づいてグループ討議）	各自、指定された文献の該当箇所について熟読し、論点などを整理しておく。（概ね1時間）
23	講読演習⑤（指名された1～2名の学生が文献について報告を行い、それに基づいてグループ討議）	各自、指定された文献の該当箇所について熟読し、論点などを整理しておく。（概ね1時間）
24	講読演習⑥（指名された1～2名の学生が文献について報告を行い、それに基づいてグループ討議）	各自、指定された文献の該当箇所について熟読し、論点などを整理しておく。（概ね1時間）
25	全体を通しての論点の整理（グループ）	
26	報告書の作成（グループ）	
27	次年度の学修準備①（研究領域について）（全体）	配布資料を熟読し、次年度にとくに深めていきたい学修内容を整理しておく。（概ね1時間）
28	次年度の学修準備②（調べ学修）（全体）	
29	次年度の学修準備③（学修成果について）（全体）	
30	まとめ（報告書の内容について総括し、今後の学修の方向性を考える）	
教科書	各ゼミで適宜選定。	
参考文献	各ゼミで適宜選定。	
備考	施設見学、探求の成果発表に関しては、講義の中で提示します。発表以外に講読演習の報告書を提出していただきます。報告書の概要についても講義の中で提示します。 各回原則、単位認定者全員で授業を担当しますが、以下教員の担当回は次の通りとなります。 鈴木純子：5, 6, 7, 8, 9回目 田中公一：5, 6, 7, 8, 9, 13, 14, 16, 27回目	

※以下は該当者のみ記載する。

実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性)

--